

令和3年(2021年)10月

日本学校教育相談学会
各支部理事長各位
会 員 各 位

日本学校教育相談学会
会長 春日井 敏 之
研修委員長 向 江 幸 洋

日本学校教育相談学会 第32回「中央研修会」開催のご案内

時下、会員の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、日本学校教育相談学会第32回「中央研修会」の研修内容が下記のように決まりましたので、お知らせいたします。今回も、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないことを考慮して、対面ではなく、Zoomによるオンライン研修となります。

つきましては、学校教育相談活動に資する6つのコース別講座を企画いたしました。年始めではございますが、万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 主 催 | 一般社団法人日本学校教育相談学会 |
| | 主 管 | 日本学校教育相談学会研修委員会 |
| 2 | 期 日 | 令和4年(2022年)1月9日(日)
午前の部：9:00～12:00(受付8:30～9:00)
午後の部：13:00～16:00(受付12:30～13:00) |
| 3 | 実施方法 | Zoomによるオンライン |
| 4 | 募集定員 | 「コース別講座」(各講座：80名) |
| 5 | そ の 他 | 受講された方には修了証を発行します。 |

午前の部 (9:00~12:00)

A
コース : 教育実践を支える4つの理論

講師：栗原 慎二 (広島大学大学院)

物理や化学も現実の世界を説明してくれます。物理や化学の法則を知っておくことは、現実を解釈する上で必須です。同様に、社会心理学は人間の社会を説明し、行動心理学は人間の行動を、臨床心理学は人間の心を説明します。理論を知っていると、現実に行っていることの説明が可能になります。これが理論を知る一つのメリットです。そしてもう一つのメリットは、ものごとが基本的には法則に則って動くのだとすれば、理論に基づいて実践を考え、構築すれば、実践はおおむね成功するということです。

この講座では、学校教育の中で利用価値の高い4つの理論を中心に説明し、その理論に基づいてどんな教育実践が可能なのかを考えます。確実に成功する教育実践を生み出し、確信をもって実践に取り組めるようになることを目指します。

B
コース : 保護者対応の危機管理 ~いじめ問題を通して教育相談の在り方を考える~

講師：嶋崎 政男 (神田外語大学)

新学習指導要領では、改めて「教育相談」の重要性に注目が集まりました。一方で、これまで経験したことのないコロナ禍によって生じた様々な問題への対処や、法的知識・判断・対処が必要とされる「法化社会」が進む中、学校教育相談の役割・限界等が明らかになってきています。

いじめ重大事態の調査に当たっても実感しています。「『受容・共感』の基本姿勢ではとても太刀打ちできない」との教職員の慨嘆を耳にすることも増えました。

このような状況下、「法化社会」における保護者対応の在り方を通して、教育相談の現状と課題を整理することは意義あることと考えます。

主題は「保護者対応の危機管理」ですが、ご参加くださる先生方と「学校教育相談の意義・役割」を再確認したいと思います。

C
コース : ネット・ゲーム依存とは ~いま知っておくべきメンタルヘルスへの対応~

講師：松崎 尊信 (久里浜医療センター)

2000年前後からインターネットは急速に普及し、いまや日常生活に欠かせない重要なインフラとなっています。2007年からスマートフォンも広まり、我々は時間や場所を選ばずインターネットを利用できるようになりました。一方、「いつでも」「どこでも」インターネット環境にアクセスして過剰に利用しすぎて日常生活に支障をきたす、いわゆる「依存」の問題が、世界中で多数報告されるようになってきました。そして、様々な議論を背景に、2019年5月「ゲーム障害」が、「依存」のひとつとして、WHOの新たな診断基準に正式に分類されたのです。

ゲーム障害は新しい疾病概念であるため、まだ社会で十分理解されているとはいえません。この講座では、ゲーム障害の概念の理解を中心に、我々をとりまく社会の現状、子どもへの影響、治療、対応方法等について紹介し、今後の学校教育の一助となることを目指します。

午後の部 (13:00 ~ 16:00)

D コース : 教育相談コーディネーターに求められる役割

講師：栗原 慎二 (広島大学大学院)

現在生徒指導提要の改訂が進められていますが、内容的には、二つの柱があります。一つは、目の問題に対応するといった課題解決的な指導だけではなく、「成長を促す指導」等の「積極的な生徒指導」の充実であり、もう一つは、学習指導要領やチーム学校等の考え方の反映です。この「成長を促す指導」と「チーム学校」推進のまさに中核を担うのが教育相談コーディネーターです。

講座では、世界のガイダンス&カウンセリングの動向やシステムと日本の実態、今後の方向性、具体的に求められることなどについてお話しします。これから学校で教育相談の中心となって活動する人にとって指針となる話になると思います。

E コース : 子どもの人権意識を育てる教育相談

—非認知能力と教職員の人権感覚にも着目して—

講師：春日井 敏之 (立命館大学大学院)

近年、国際社会、国内で、ダイバーシティ (多様性) とインクルージョン (包括) を基盤とした国、社会、企業、学校づくり等が提唱されてきました。その理念には、子どもと大人、障害者、ジェンダー、貧困、人種といった壁を超える「人権擁護」(advocacy)の視点があります。これは、子どもの権利条約にある「子どもの最善の利益」の実現とも重なります。

私たちは教育実践のなかで、どのくらい子どもの人権、教職員の人権について、意識しているのでしょうか。いじめ、ハラスメントなどは、なぜ起こるのでしょうか。私たちの人権感覚も問われています。また、人権条項を教えても、お互いが尊重され、つながって生きている実感が乏しいのでは身に付きません。自己肯定感、レジリエンス、意欲、協調性といった「感覚」は非認知能力であり、知識として教え込むものでもありません。こうしたなかで、教育相談の果たす意味は、ますます重要になっています。子どもや教職員の人権感覚をお互いに育て合っていく教育相談、教育実践について一緒に考えていきましょう。

F コース : 愛着発達上の課題を抱えた子どもたちへの支援：学校現場ができること

講師：大橋 良枝 (聖学院大学)

安心感を持ちづらい家庭環境に育った子どもたちの中には、学校の中でも安心感を持ちづらく、適応するのに難しい子どもたちがいます。このような子どもたちを理解するために、「愛着」という心理学用語が教育現場に広まっております。この言葉の急速な広まりは、暴言、暴力、教室に入れない、情緒不安定・・・といった子どもたちの表現の仕方に、困り感や疲労感を抱える先生方が急増していることの現れだだと思います。講師の大橋も、難しい養育環境を背景に持ち、人との間に安心感が持ちづらく先生方を困らせてしまう子どもたちに対して、学校現場でできることは何だろうかと、検討を重ねてまいりました。こういった知見が現場の先生方の安心感につながることを願っております。関心のある先生方、ぜひお聞きにいらしてください。

7 受講料

参加区分	参加費（1講座につき）
一般会員	3,000円
学校カウンセラー	2,000円
学生会員（社会人は除く）	2,000円
会員外	4,000円

※第32回中央研修会は「コース別講座」のみで、午前の部と午後の部からそれぞれ1コースずつ選択いただけます。

受講料につきましては、1コースで上記料金となります。2コースの受講では合算した料金となります。

8 申込方法及び申込期間について

(1) 申込方法

参加申込は、**学会ホームページの中央研修会「申込リンク」**より お申し込みください。

なお、上記の方法以外での申込は受け付けておりません。

申込方法の詳細につきましては、別紙「**中央研修参加申込方法**」をご覧ください、手順にそって、お申し込みください。

(2) 申込期間

2021年11月10日(水)0:00から**2021年12月20日(月)23:59**まで

今回から、申込期限が過ぎた場合は、参加を受け付けることができません。

参加をお考えの方は、お早めにお申し込みください。

*参加申込後に、DSK電算システム収納代行センターより、受講料の払込取扱票がはがきで申込者宛に郵送されます。

(3) 注意事項

- ① 参加申込は、学会ホームページからのWeb入力のみです。電話、郵送、FAXでの受付はありません。
- ② **申込は、先着順**です。定員に達した場合は、受付期間中でも受付を終了する場合があります。
- ③ 参加申込をされた方でも、**期限までに、受講料の振り込みがない場合は、自動的にキャンセル**となりますのでご注意ください。DSK電算システム収納代行センターからの払込取扱票（はがき）に納入期限が明記されています。
- ④ 期限までに受講料を納入された方には、2022年1月7日(金)に、中央研修会参加のIDとパスワード及び事前配付資料等をメールにてお送りいたします。
- ⑤ 参加申込完了後に、自己都合により、参加を取り消す場合は、受講料の返金はありません。但し、その場合は、代理の方の参加を認めます。
- ⑥ 研修内容に関することは、研修委員会まで、その他参加申込方法や受講料納入に関する事務的なことは、学会事務局まで下記専用アドレスにメールでお問い合わせください。

研修内容に関するお問合せ先
研修委員会
E-mail : jascgkensyu01@gmail.com

参加申込等、事務手続に関するお問い合わせ先
学会事務局
E-mail : jimuchu@jascg.net